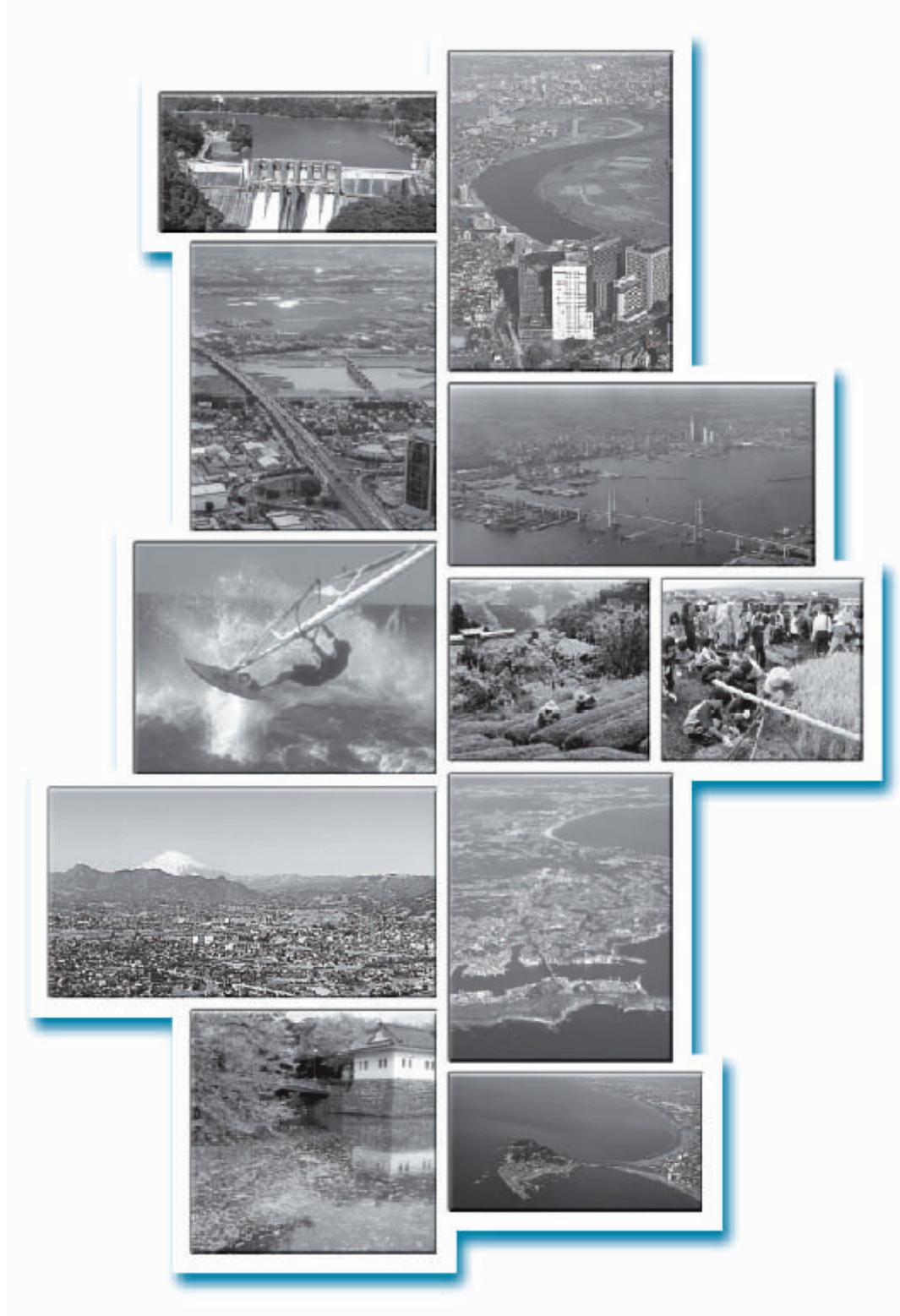




# 神奈川力構想・プロジェクト51

「活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造」をめざして



平成16年3月





## ごあいさつ

神奈川を取り巻く社会経済環境は、少子・高齢社会の到来、グローバル化や高度情報化の進展、人々のライフスタイルの多様化など、大きく変化してきております。また、今後を見通しても、人口減少期への移行が目前に迫るなど、時代の変化は一層鮮明になってくるものと思われま

す。また、県では、長引く景気低迷により、法人関係税収が大幅に落ち込むなど、大変厳しい財政状況に置かれているなかで、産業・雇用、福祉、教育、環境、治安など、様々な分野で、行政需要が複雑かつ多様化し、県として取り組まなくてはならない課題が山積しています。

しかし、神奈川は、横浜開港以来、日本の近代化をリードしてきた先進性と、戦後の経済発展を支えてきた産業の集積や高い技術力を備えています。また、大都市を抱える一方で、豊かな自然にも恵まれ、それぞれの地域の特色ある歴史と風土が織りなす魅力あふれる県であり、そして何より、時代の変化に立ち向かう進取の気風に富んだ人々が暮らしています。

私は、こうした神奈川の持つ多彩な潜在力を『神奈川力』と呼び、これらを結集することで、必ずや様々な困難な課題を乗り越え、素晴らしい地域としてさらに発展することができると考えております。

そこで、こうした時代の動向をしっかりと見据え、マニフェスト（政策宣言）でお示した考え方や政策を土台として、県民の皆様をはじめ、市町村の方々、県議会からいただいたご意見を反映させながら、総合計画審議会でご審議をいただき、今後の県政運営の総合的指針として、『活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造』をめざす「神奈川力構想・プロジェクト51」を策定いたしました。また、併せて、県行政のあり方そのものも見直し、改革に取り組むため、「地域主権実現のための中期方針」「行政システム改革の中期方針」を策定し、一体的に推進することといたしました。

私は、時代の流れが大きく転換する中で、今後、個性豊かな地域づくりを進め、いきいきとした地域社会を築いていくために、県民の皆様、そして地域のことをよくご存じの市町村の方々と力を合わせながら、全力を尽くして、21世紀の神奈川づくりに取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成16年3月

神奈川県知事 松沢 成文



# 神奈川県力構想・プロジェクト51

「活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造」をめざして

はじめに

第1章 神奈川のめざすすがた

第2章 実施計画

第3章 計画の推進にあたって

---